

会 議 録

会 議 の 名 称	第 5 回浮き城のまち景観賞審査委員会 (第 2 回)
開 催 日 時	平成 22 年 11 月 1 日 (月) 開会：午前 10 時 00 分 閉会：午後 4 時 15 分
開 催 場 所	産業文化会館地階 創作室
出席者 (委員) 氏 名	青 木 秀 昭 大 澤 賢 一 郎 持 齋 康 弘 滝 沢 布 沙 増 渕 文 男 宮 本 伸 子 村 田 直 哉 (五十音順・敬称略)
欠席者 (委員) 氏 名	
事 務 局	まちづくり推進課 風間課長、青山主幹、瀬尾主査
会 議 内 容	① 議 事 ・ 現 地 審 査 ・ 最 終 審 査 ・ 受 賞 作 品 決 定
会 議 資 料	① 次 第 ② 委 員 名 簿 ③ 現 地 審 査 行 程 表
そ の 他 必 要 事 項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
増淵委員長	<p>（現地審査を経て）</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終審査前に、現地審査を実施した率直な感想や意見をお願いしたい。
宮本委員	<ul style="list-style-type: none"> 現地審査を行って、単体として文化財として既に何らかの形で受賞しているものを景観賞に指定してきた傾向がこれまではあると思うが、景観賞でその景観を評価したり、これから大事にしていくと発言したり、守っていかなければいけないものに目を向けなければならない。
青木委員	<ul style="list-style-type: none"> 宮本委員と同意見である。
滝沢委員	<ul style="list-style-type: none"> 行田市の象徴でもあり、忍城が一番でないと行田が始まらないというところで、観光の拠点としたい。また、さきたま古墳も観光の拠点となるため推薦したい。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> 全般的には、個別な単体として可能性が展開していくような建物があった。 景観賞は、空気、気配なども感じ取れたが、行田の絵はがきになるようなものが必要ではないかと思う。
持齋委員	<ul style="list-style-type: none"> 過去の景観賞は、建築物単体であったと思うが、今後残していくべきものを景観賞としたほうが良い。 知名度が低いものでも景観賞をきっかけとして、広く知ってもらうことが大事だと思う。
大澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 建物の歴史性や建築物としての評価に引きずられてしまうところがある。景観を保存する人の意思がないといけない。また、写真としてはいいと思うが、景観は眺めることだと思うので、眺める場所の評価を考えながら回った。
増淵委員長	<ul style="list-style-type: none"> 有名でなくても、そこにマッチしているものを投票したい。 長い間守ってきたものが、今でも残っているものもいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 現地視察後すぐに投票して決めるのはどうかと思う。一見しての感想で決めるのも一つの方法だと思うが、ある程度のデータがあって決めたいという気持ちもある。
	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんの意見を聴いていると、賞の「内向きか」、「外向きか」というのも大きな論点だと思う。景観なので、視点場も考えなくてはならないこともあり難しい。

増渕委員長	・ 内向きか、外向きかについて、市民でも知らないところを知らしめるのもいいと思う。その辺がポイントではないか。
宮本委員	・ 話題性としては、来年公開される「のぼうの城」の映画があるが、そのようなものに引きずられたくないと思う。
滝沢委員	・ 一番いい絵は、やはり忍城が話題性としてはぴったり合う。
宮本委員	・ 忍城を復元するのなら、もう少し違う形でしてほしかった。 ・ 一方で、市民の中では、忍城は現在のものであるということが定着していると思う。
持齋委員	・ 忍城について、写真では良く見えたが、実際に見ると評価が変わった。堀が浅く、RC構造のイミテーションのようで気になった。
青木委員	・ 城に関していえば、個々に色々な意見があると思う。しかし、行田の象徴として考えれば、行田に行ったら城を見て、それから丸墓山というコースだと思う。「のぼうの城」を全国的にPRするとなると、忍城と丸墓山に焦点を合わせてもいいと思う。逆に、忍城と丸墓山が賞を取っていないのが不思議である。
持齋委員	・ 景観賞は、表彰される方がいるのか。忍城が今回賞をもらった場合、誰が表彰されるのか。
事務局	・ 公共物、例えば忍城になった場合、所有者は行田市であり、要綱に従って考えれば、表彰はしないで景観賞のPRをすることになる。
増渕委員長	・ 設計事務所はどうか。
事務局	・ 設計事務所は表彰できる。施行者も同様である。
持齋委員	・ 県の場合は、県が設計、施行した場合は除外している。
増渕委員長	・ 古墳の場合はどうなるのか。
持齋委員	・ 県主催の彩の国景観賞には推薦できない。審査されない。
事務局	・ 以前は、市などの公共団体のものは除外していた。建物にこだわらずに、自然の部分を増やすことで、今回自然景観を入れて枠を広げた。自然には関わらないが、公共のものでも対象としている。
持齋委員	・ 県の場合、自然景観を表彰しているのではなく、その景観を維持・保全等を行っている団体をしている。自然風景を表彰する場合、その対象をどうするかという問題があるので難しい。
増渕委員長	・ 自然景観の場合はどうか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観になった場合には、表彰対象としてそこに係わる清掃団体など当該景観に関係する団体を予定しているが、どこまで把握できるか分からないところではある。 ・事務局としては、公共的なものの場合、例えば忍城であれば、PRにとどめたいと考えている。
宮本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観にしても、表彰する相手がいるのかいないのかという議論をしてもいいのではないか。
増渕委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それについては、今回行うのか、後日行うのかということもある。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に何うが、第1回は部門が分かれてあったが、2回目以降は分かれていない。何か理由があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目は2つの部門分けをして表彰していた。2回目以降は、審査会の委員の皆様にご議論いただきながら進めてきた。その結果として、以後は部門分けをしないで表彰することにした。
増渕委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、投票に入りたいと思いますが、その前に実施要領第5「審査」の6で、「審査委員が景観賞対象候補作品に関与している場合は、審査に参加しないものとする」とありますが、どなたか関わっている作品があるか。 <p>(該当なし)</p>
増渕委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・関わっている方はいないようなので、審査に入りたいと思う。 <p>(事務局より投票について説明。各自2作品の投票)</p> <p>(集計後、集計結果を委員全員に配布)</p>
増渕委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、皆さんに意見を聴きたいと思う。
宮本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2作品が4票ずつで、他に3票の作品があれば再度検討することもあると思うが、そうではないのでこれでいいのではないか。
青木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も同意見だ。
滝沢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・色々迷ったが、この集計のとおりでいいと思う。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この集計のとおりでいいと思う。
持齋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで悩んだが、納得の結果だと思う。
大澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・結果については尊重したい。事務局に確認するが、表彰は2作品でよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の景観賞は、2作品でお願いします。
増渕委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、皆さんこの結果でよろしいか。

	(全員賛成)
増淵委員長	・それでは、選んだ理由を順に聞かせて頂きたい。
	[丸墓山古墳]
宮本委員	・円墳としては、東日本で最大級のもで、昔も今も行田の象徴であり、景観的なシンボルであるという意味で、自然化した人工物でもあるので選んだ。また、桜の時期は綺麗である。
滝沢委員	・古墳単体ではなく、古墳群として大きくとらえることも受賞の対象としてもいいと思う。それでも丸墓山古墳はいいと思う。
	[内田家長屋門]
持齋委員	・事前審査では評価が高くなかったが、実際に見てみて評価が変わった。大きくて迫力があり、白壁が非常に美しく管理されていた。前面の畑の景観が非常にマッチしていた。
大澤委員	・確かに前面の畑の景観がマッチしていた。
宮本委員	・10年程前に壁を補修したと聞いている。
	・丸墓山古墳の表彰についてはどうするのか。
増淵委員長	・丸墓山古墳についてはどうするか話したいと思う。管理する団体などがあるのか。
事務局	・特定の団体はないと思う。県の所有のため、県が管理をしていると思う。
持齋委員	・他では、階段の修復や清掃等を行っている NPO 団体があるが、たぶん丸墓山古墳はないと思う。ただ、何か関わっている地元の団体等があるかもしれない。調べて頂きたい。
増淵委員長	・丸墓山古墳と内田家長屋門に第5回の景観賞に決定する。
	(その他)
事務局	・表彰式について、12月下旬を予定したいと思う。決定ではないが、委員の皆様以案内通知を出したい。都合のつく方は出席をお願いしたい。
	～閉会～